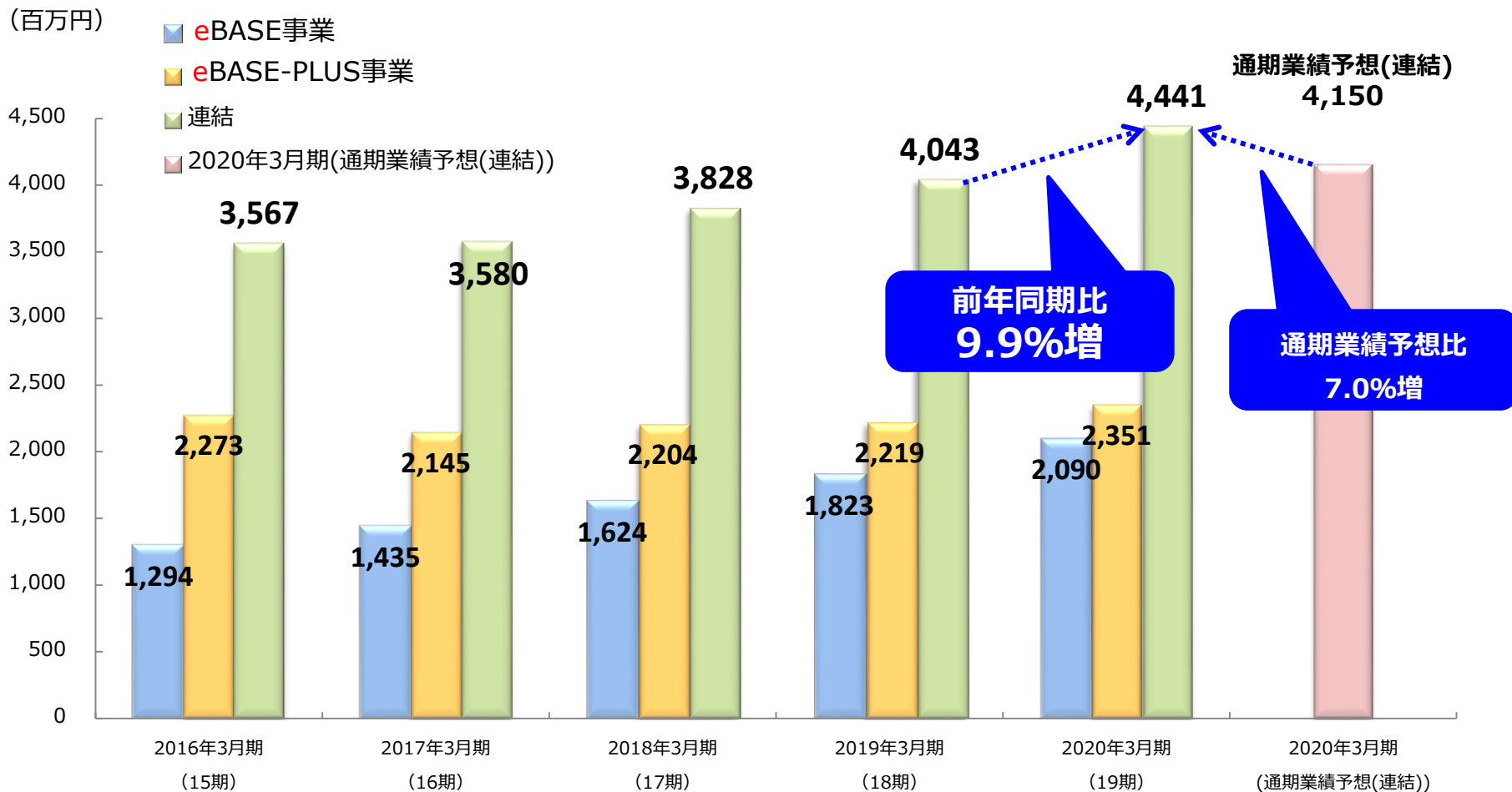


eBASE株式会社 2020年3月期 決算と事業報告

証券コード：3835

2020年5月

通期決算 連結売上高の推移

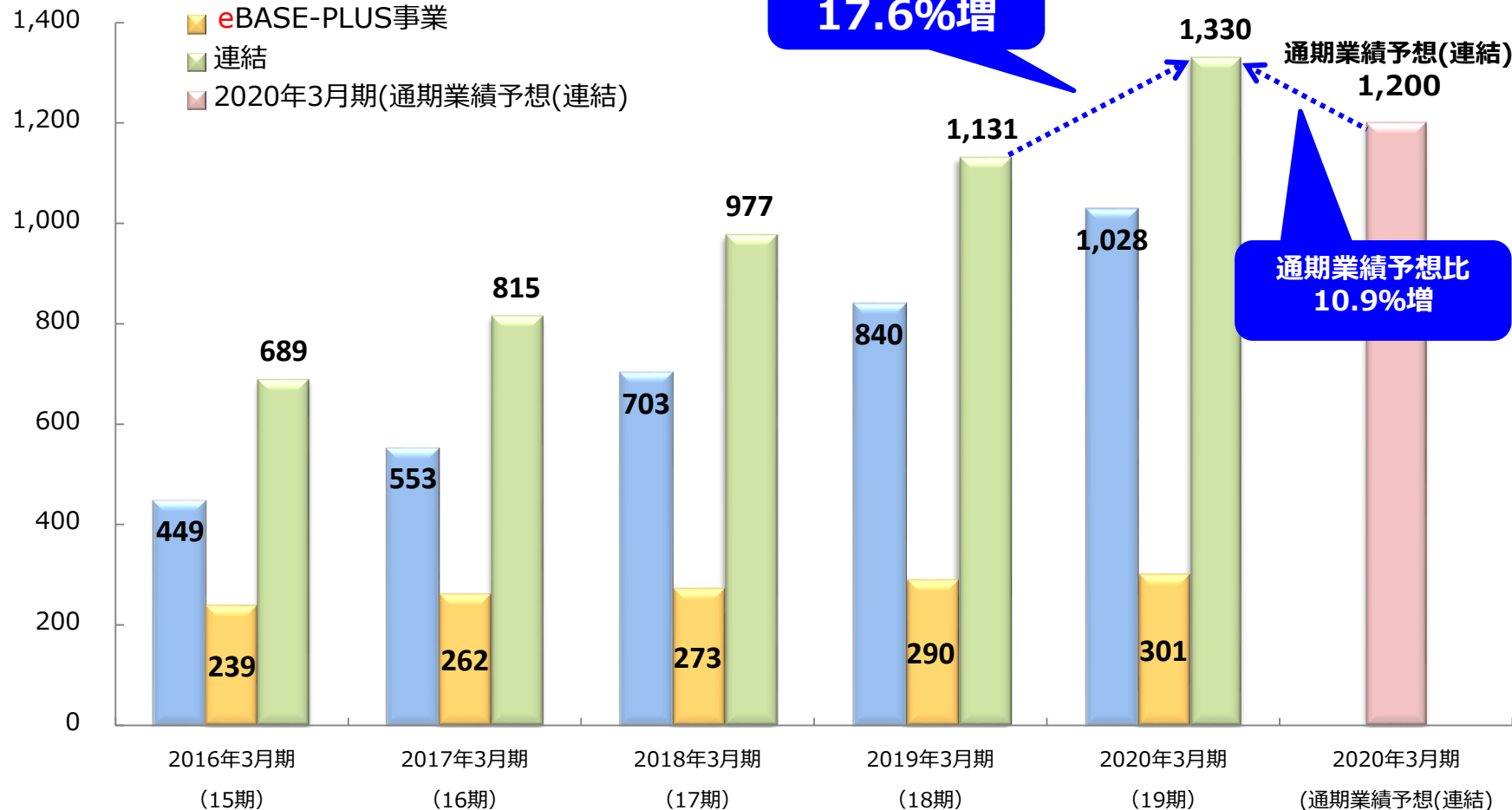


注1) セグメント間取引については、相殺消去しております。

通期決算 連結経常利益の推移

(百万円)

- eBASE事業
- eBASE-PLUS事業
- 連結
- 2020年3月期(通期業績予想(連結))



注1) セグメント間取引については、相殺消去しております。

通期決算 連結業績・連結貸借対照表の推移

(単位：百万円)

	2016年3月期 (第15期)	2017年3月期 (第16期)	2018年3月期 (第17期)	2019年3月期 (第18期)	2020年3月期 (第19期)
売 上 高	3,567	3,580	3,828	4,043	4441
(eBASE事業)	(1,294)	(1,435)	(1,625)	(1,823)	(2,090)
(eBASE-PLUS事業)	(2,274)	(2,147)	(2,209)	(2,231)	(2,359)
(セグメント間取引)	(△1)	(△2)	(△6)	(△12)	(△9)
営業利益	697	828	958	1,099	1,291
経常利益	689	815	977	1,131	1,330
(eBASE事業)	(449)	(553)	(703)	(840)	(1028)
(eBASE-PLUS事業)	(239)	(262)	(273)	(291)	(301)
(セグメント間取引)			(-)	(1)	(0)
親会社株主に帰属する 当期純利益	474	566	688	784	904

	前期 (2019年3月末)	当期 (2020年3月末)	前期末比	
流動資産	3,035	3,859	823	現金及び預金+849、受取手形及び売掛金△37
固定資産	1,538	1,406	△131	
(有形+無形資産)	72	80	8	
(その他)	1,465	1,325	△140	投資有価証券△162
資産合計	4,573	5,266	692	
流動負債	491	518	26	未払法人税等+23、未払消費税等+47、その他△25
負債合計	491	518	26	
株主資本合計	4,076	4,752	676	利益剰余金+667 (配当金支払△236) (親会社株主に帰属する当期純利益の計上+904)
新株予約権	13	13	△0	
純資産合計	4,082	4,747	665	
負債・純資産合計	4,573	5,266	692	

eBASEグループ事業概要

当社グループは、eBASE事業とeBASE-PLUS事業で構成

eBASE事業

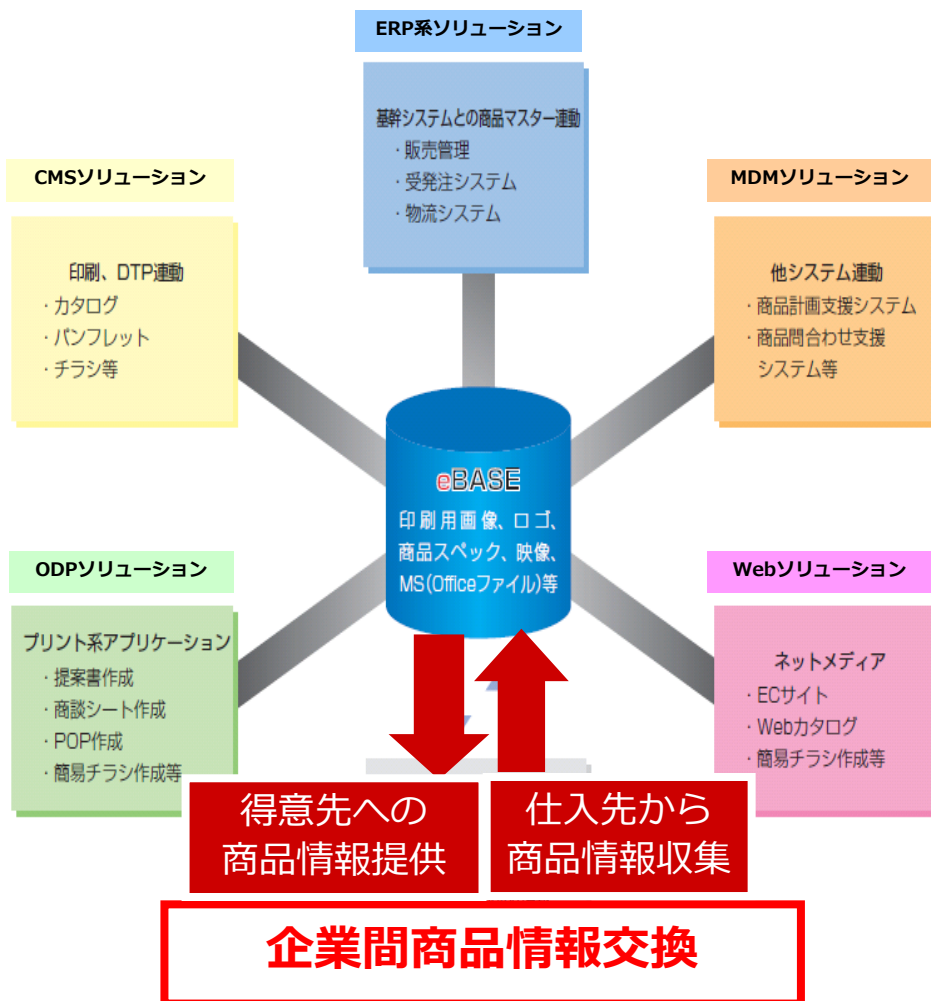
- ・ 様々な業界（食品、日雑、医薬、家電、住宅、工具業界、等）で、統合商品情報管理パッケージソフトeBASEを自社開発・販売。
- ・ オンプレミス型だけでなく、クラウドサービスも提供。
- ・ 業界別に、企業間商品情報交換の標準化を推進し、商品データプールサービス「商材えびす」を提供。
- ・ 基幹システムのマスターマネジメントシステム「MDMeBASE」を提供。

eBASE-PLUS事業

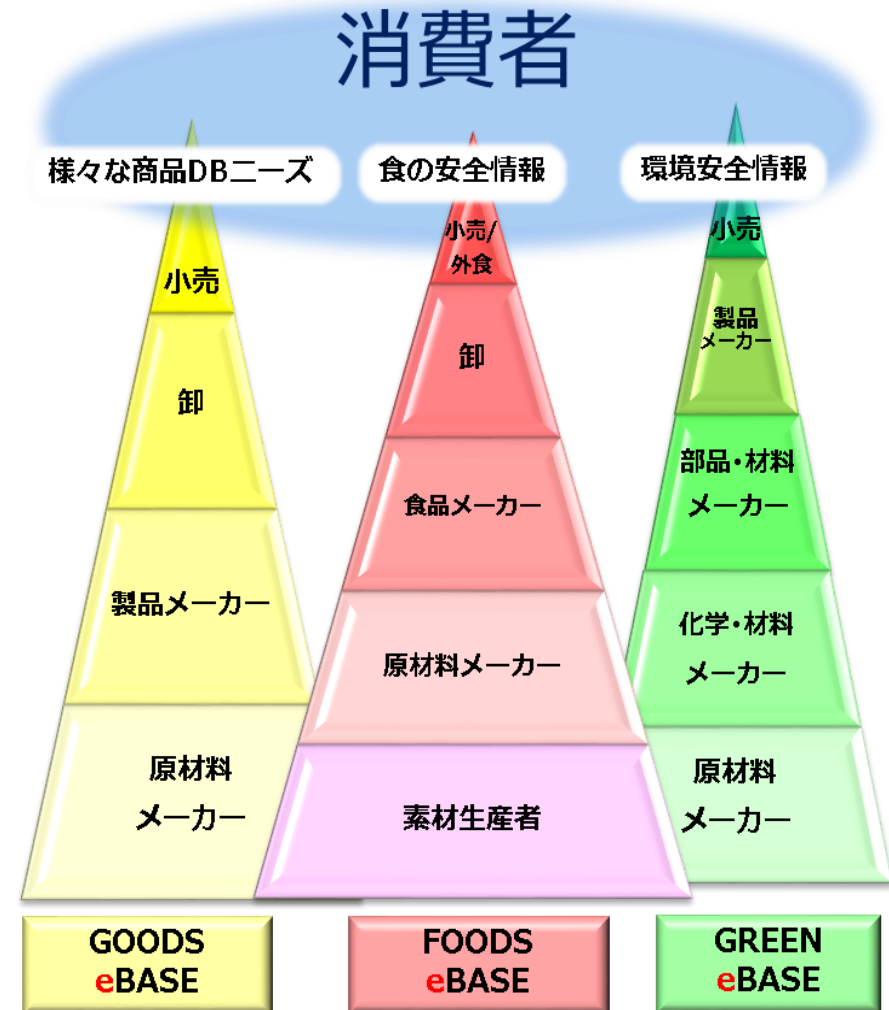
- ・ eBASE社や顧客企業からの受託開発、受託オペレーション、受託サーバー保守等のIT開発アウトソーシングビジネス。

eBASE事業概況

統合商品データベースeBASE概要



業界別の商品情報交換サービス概要



新しいeBASE事業概況(コンテンツビジネス)

eBASE 商品データプールサービス「商材えびす」

商品詳細情報の提供を効率化！

商品情報は随時更新中!!

商品詳細情報の収集を効率化！



他業界へ展開

< 食品業界 >

eB-foods

食材えびす
eBASE



< 日雑業界 >

eB-goods

日雑えびす
eBASE



< 文具業界 >

eB-stationery

文具えびす
eBASE



< 家電業界 >

eB-appliance

家電えびす
eBASE



< 医薬品業界 >

eB-OTCdrug
eB-medicine

OTCえびす
調剤えびす
eBASE



< 住宅業界 >

eB-housing

住宅えびす
eBASE



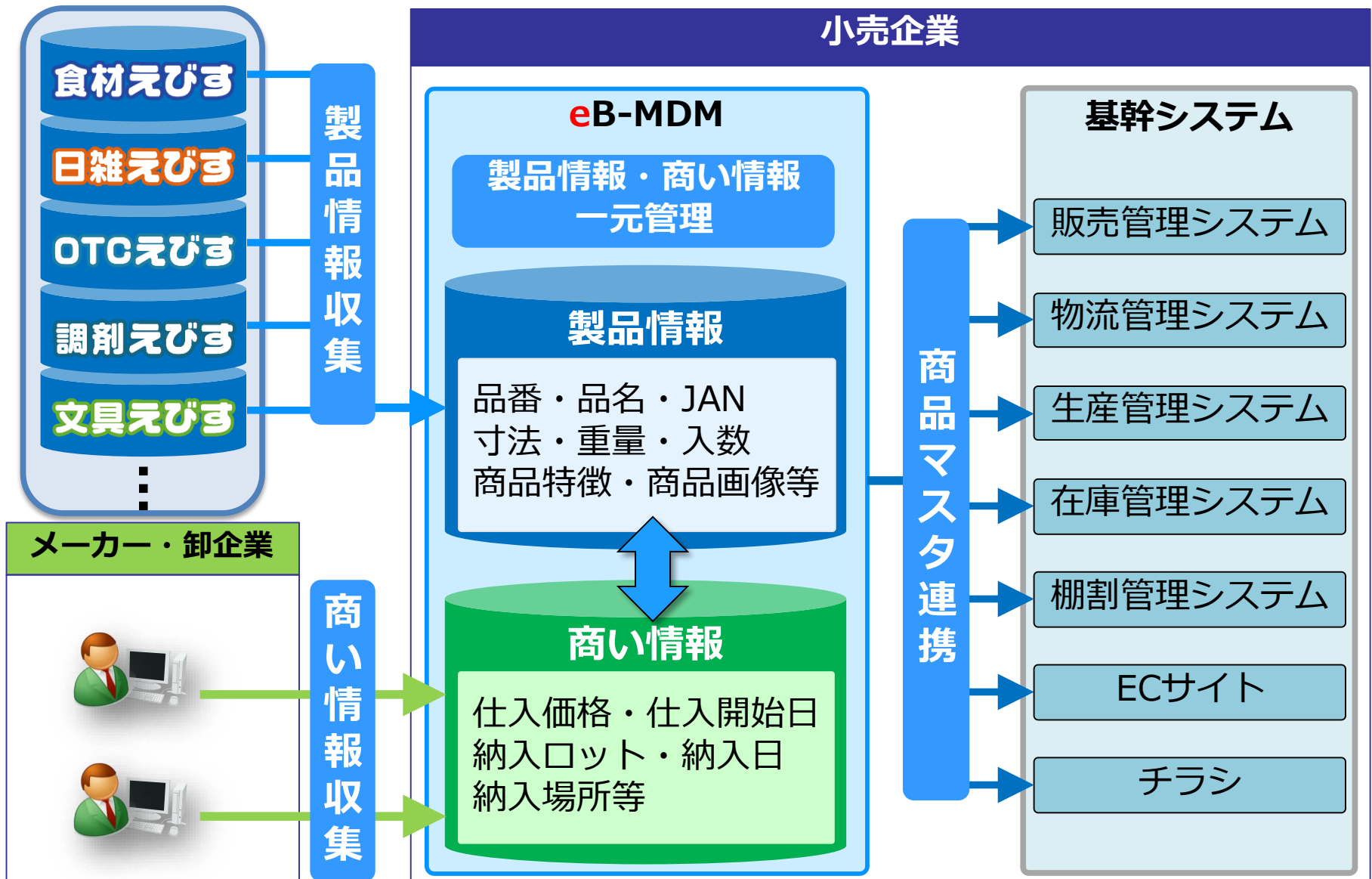
< 工具業界 >

eB-tools

工具えびす
eBASE



商材えびすのMasterDataManagement活用



eBASE事業 中長期戦略

ミドルウェアeBASE

コア コンピタンス

業界別 商品情報交換標準化



商品データプールサービス

ビジネスモデル

商品情報交換業務
の圧倒的効率化

推進戦略

マネタイズ

業界別 商品情報管理パッケージソフト販売

食材えびす
日雑えびす
家電えびす
住宅えびす
文具、工具、etc

コンテンツビジネスへの新展開
ビッグデータ プラットフォーマー
消費者向けアプリビジネス、等

食品業界 : FOODSeBASE
日雑業界 : GOODSeBASE
家電業界 : eB-appliance
住宅業界 : eB-housing、etc

eBASE-PLUS事業概況

eBASE-PLUS事業 IT開発アウトソーシングサービス

システムソリューション

ソフトウェア開発

企画・分析・設計・構築・導入・運用管理・保守をサポート。

インフラ構築

サーバ、クライアント環境構築業務をサポート。

サポートサービス

統合運用管理

ITシステムの運用をサポート。

ヘルプデスク

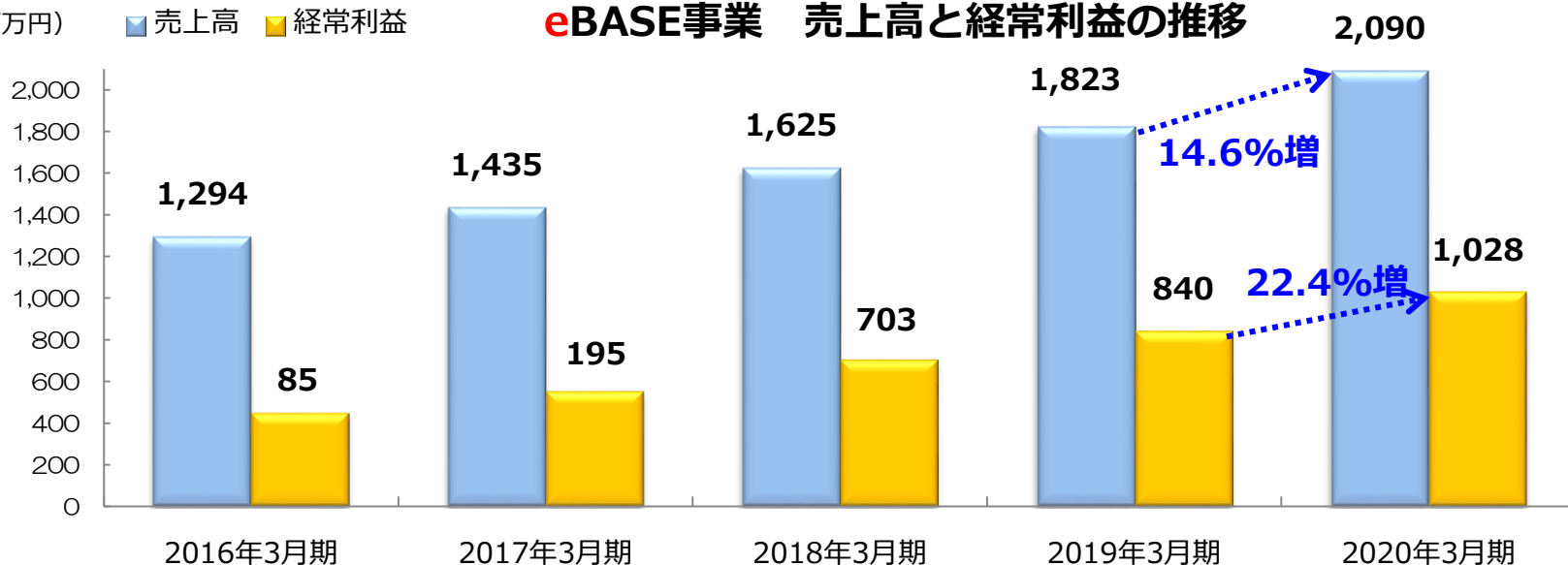
1次対応から技術スキルを要する2次対応までのヘルプデスク。

通期決算セグメント毎の概況/eBASE事業

eBASE事業（パッケージソフトビジネス）

(百万円) ■ 売上高 ■ 経常利益

eBASE事業 売上高と経常利益の推移



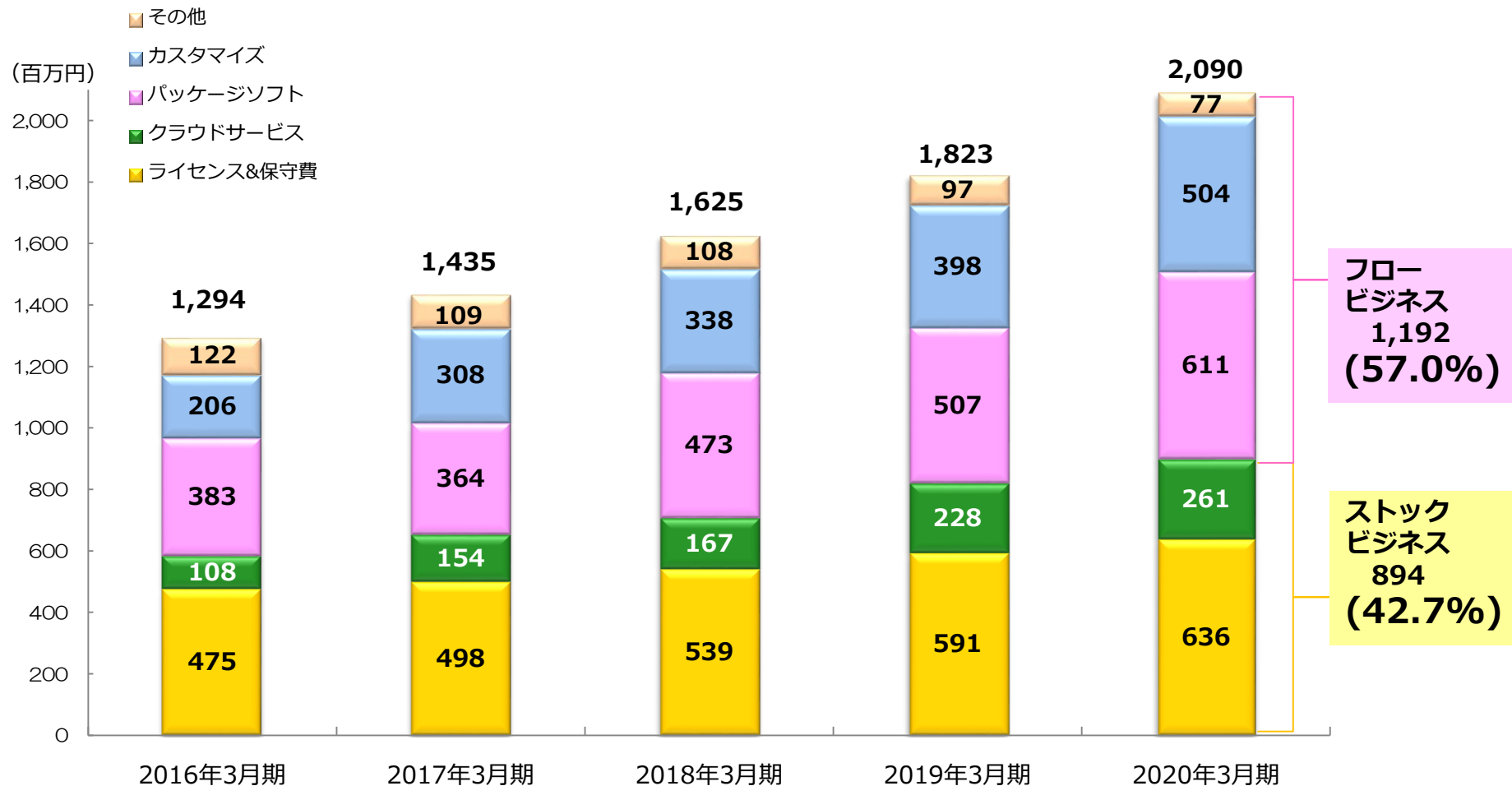
注1) セグメント間取引については、相殺消去しておりません。

総括

- ・新法に対応し、対象アレルギー情報を追加したeB-foodsVer4.7を継続展開。
- ・「商材えびす」と連携した基幹システムのマスターマネージメントシステム「MDM eBASE」の注力展開。
- ・食品業界では、大型案件の減少も、中小型案件の増加により堅調に推移し微増。
- ・日雑業界では、業界業態を問わずカスタマイズ型統合商品DB受託開発が順調に進み増加。
- ・住宅業界では、大手ハウスメーカーの統合商品情報管理システム導入が順調に進み、また、大手および中堅ハウスメーカーで新規大型案件を受注し大幅増。

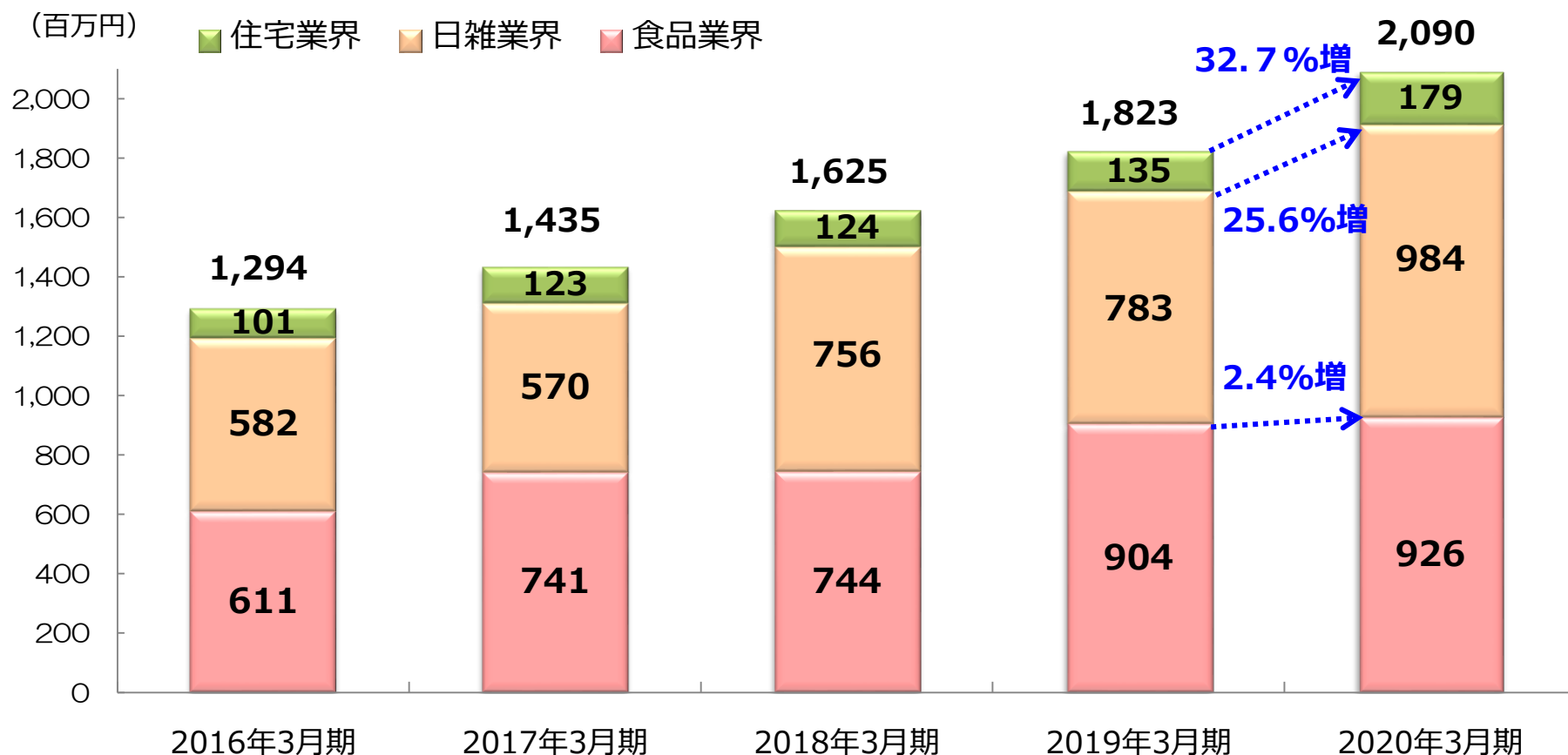
通期決算セグメント毎の概況/eBASE事業

種類別販売実績の推移



通期決算セグメント毎の概況/eBASE事業

業界別売上実績の推移



注) 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表しております。

通期決算セグメント毎の概況/eBASE事業

食品業界 今期施策とその進捗

2020年3月期 施策

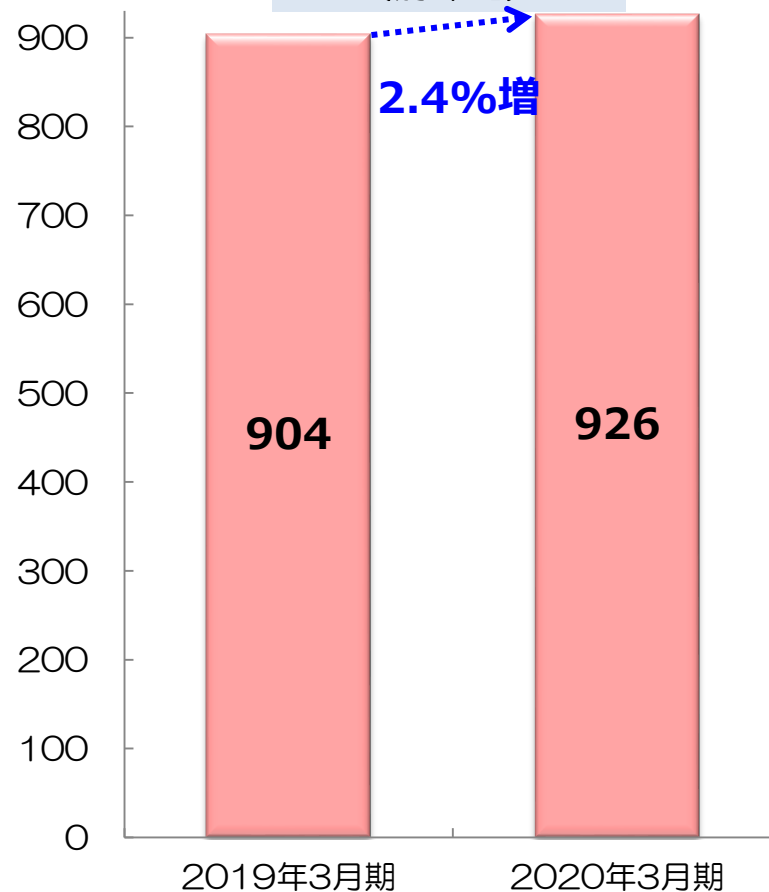
- ・ 現事業モデルの継続推進。
- ・ 商品データプールサービス「食材えびす」のデファクト化の継続推進と販促強化。
- ・ 無償「eBASEjr.」への有用機能の低額提供。
- ・ 食品小売企業の非食品系えびす運用の推進。

その進捗

- ・ 売上実績（通期累計）：926百万円
- ・ 新法対応の対象アレルギー情報を追加した「eB-foods Ver4.7」を継続展開。
- ・ 「食材えびす」連携「MDM eBASE」の小売企業での運用が増加。
- ・ ネットスーパーでNB商品コンテンツ利用が進みPB商品コンテンツ管理ニーズも高まり、PB商品データの「食材えびす」登録が大幅増。
- ・ 売上高は、大型案件の減少も、中小型案件の増加により堅調に推移し前年同期比で微増。

(百万円)

食品業界 売上実績
(前年比)



通期決算セグメント毎の概況/eBASE事業

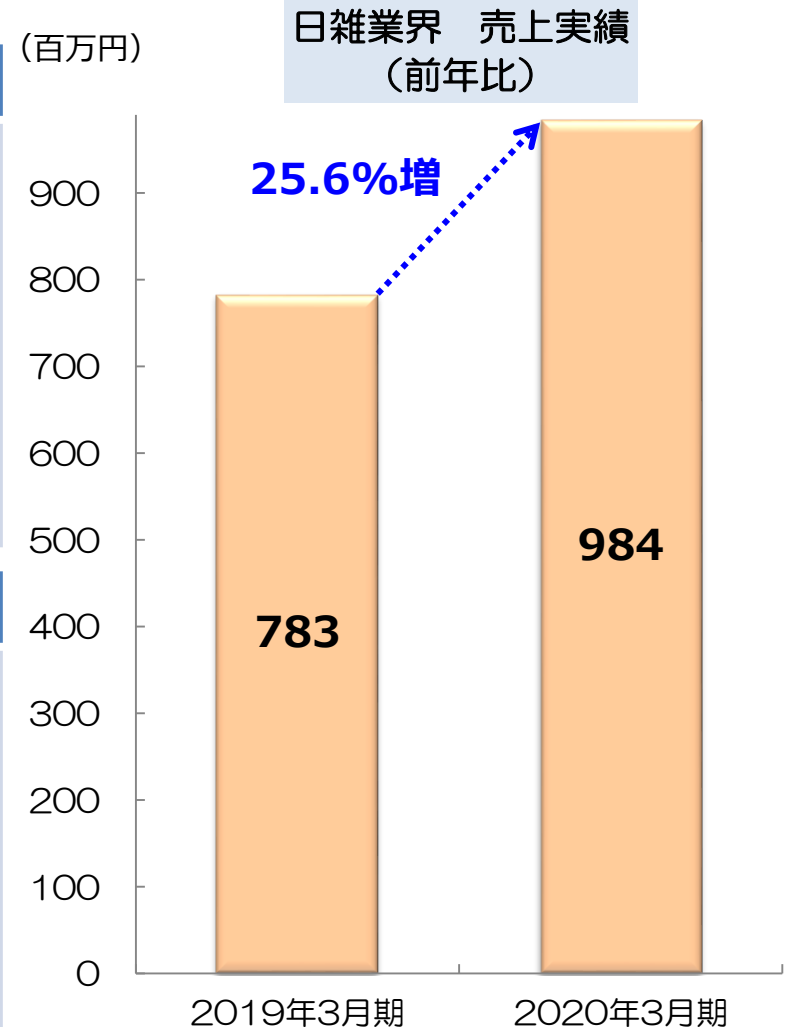
日雑業界 今期施策とその進捗

2020年3月期 施策

- ・ 日雑業界（ドラッグストア業界、ホームセンター業界、スポーツ用品業界、カー用品業界、通販業界等）で商品情報交換環境の全体最適化を推進。
- ・ 商品データプールサービス「日雑えびす」、「食材えびす」、「調剤えびす」、「OTCえびす」の販促を推進。
- ・ 顧客企業のカスタマイズ型統合商品DB受託開発の推進。

その進捗

- ・ 売上実績（通期累計）：984百万円
- ・ 「日雑えびす」の販促に注力。
- ・ 統合商品DBの大型案件を受注。
- ・ 多言語情報管理データベースソリューション「eB-MLDB」を開発し、公益財団法人が採用。
- ・ 業界を問わずカスタマイズ型統合商品DB受託開発が順調に進む。
- ・ 売上高は、前年同期比で増加。



通期決算セグメント毎の概況/eBASE事業

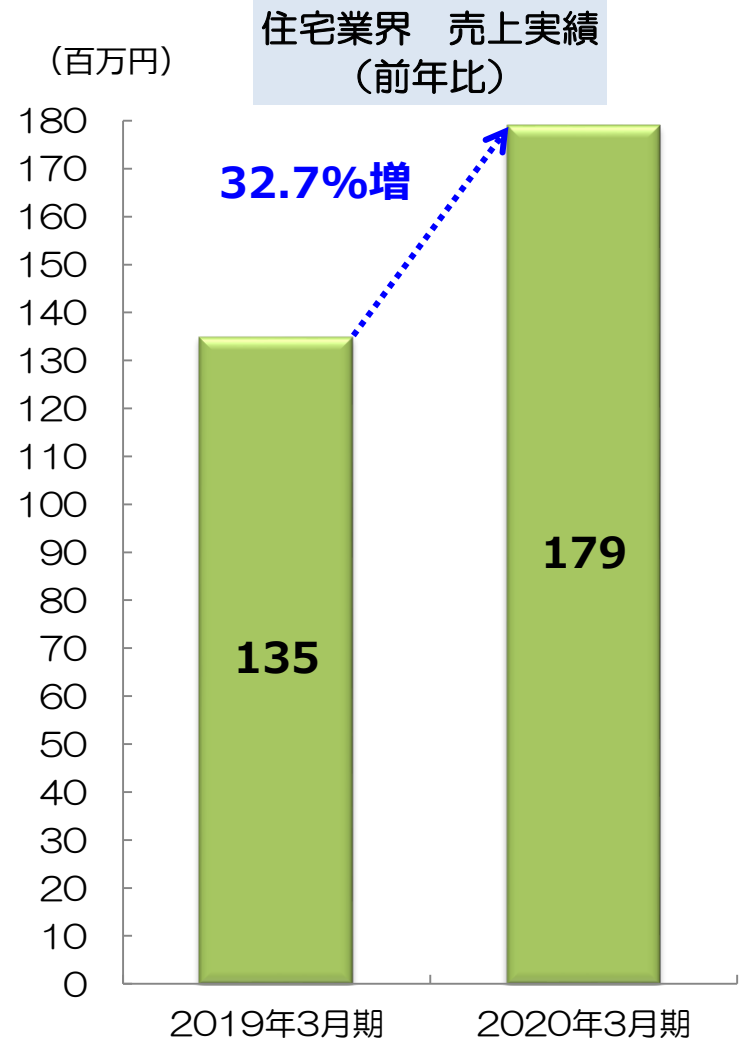
住宅業界 今期施策とその進捗

2020年3月期 施策

- ・商品データプールサービス「住宅えびす」のデファクト化推進。
- ・顧客企業のカスタマイズ型統合商品DBの受託開発の推進。

その進捗

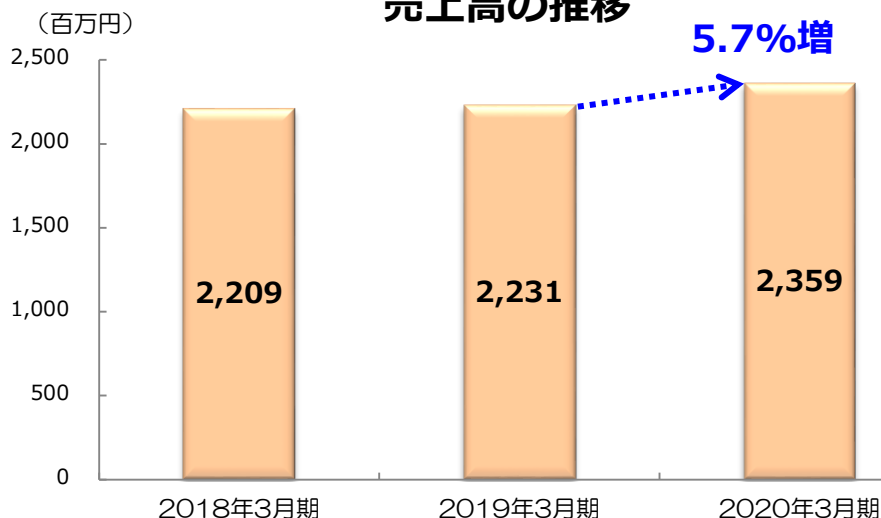
- ・売上実績（通期累計）：179百万円
- ・大手ハウスメーカーによる「住宅えびす」と連携した統合商品情報管理システムの導入が順調に進む。
- ・大手ハウスメーカーがメンテナンス部材・部品管理システムを様々な部門で活用開始
- ・大手および中堅ハウスメーカーで新規大型案件を受注し、既存顧客でも深耕営業により案件が拡大。
- ・売上高は、前年同期比で大幅増加。



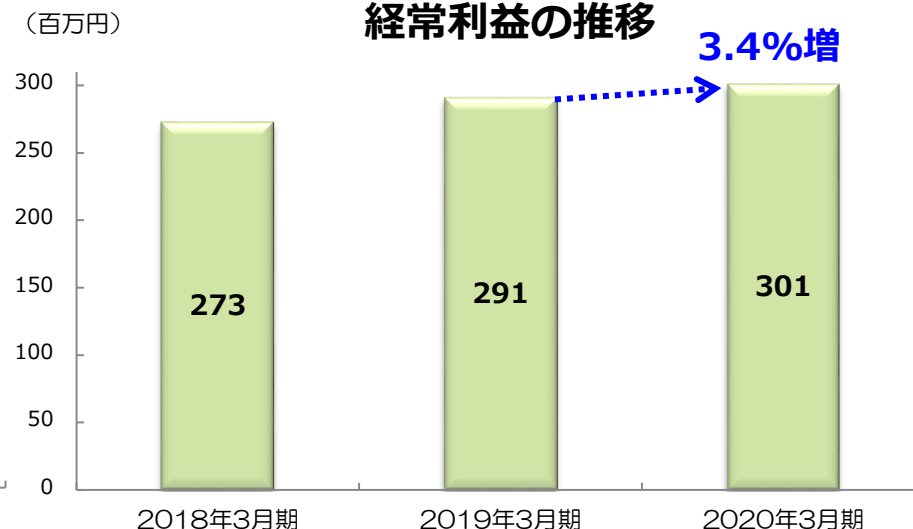
通期決算セグメント毎の概況/ eBASE-PLUS 事業

eBASE-PLUS事業（IT開発アウトソーシングビジネス）

売上高の推移



経常利益の推移



総括

注1) セグメント間取引については、相殺消去しておりません。

2020年3月期 施策

- ・ 既存IT開発アウトソーシングビジネスの維持。
- ・ 安定衰退モデルから低成長モデルへの転換策検討。
- ・ eBASEビジネスとの連携。
- ・ 人材の新規採用の継続及び育成。
- ・ 優良M&A案件の推進。

その進捗

- ・ 売上実績（通期累計）：2,359百万円
- ・ 顧客ニーズに沿った案件獲得に注力。
- ・ 即戦力となる中途採用を推進し人材の確保・育成に努めるが、引き合いに見合った社員確保が困難な傾向
- ・ 全体稼働工数は退職により減少。
- ・ ビジネスパートナーの活用 に注力。
- ・ 売上高、経常利益は前年同期比で微増。

次期（2021年3月期）の連結業績予想

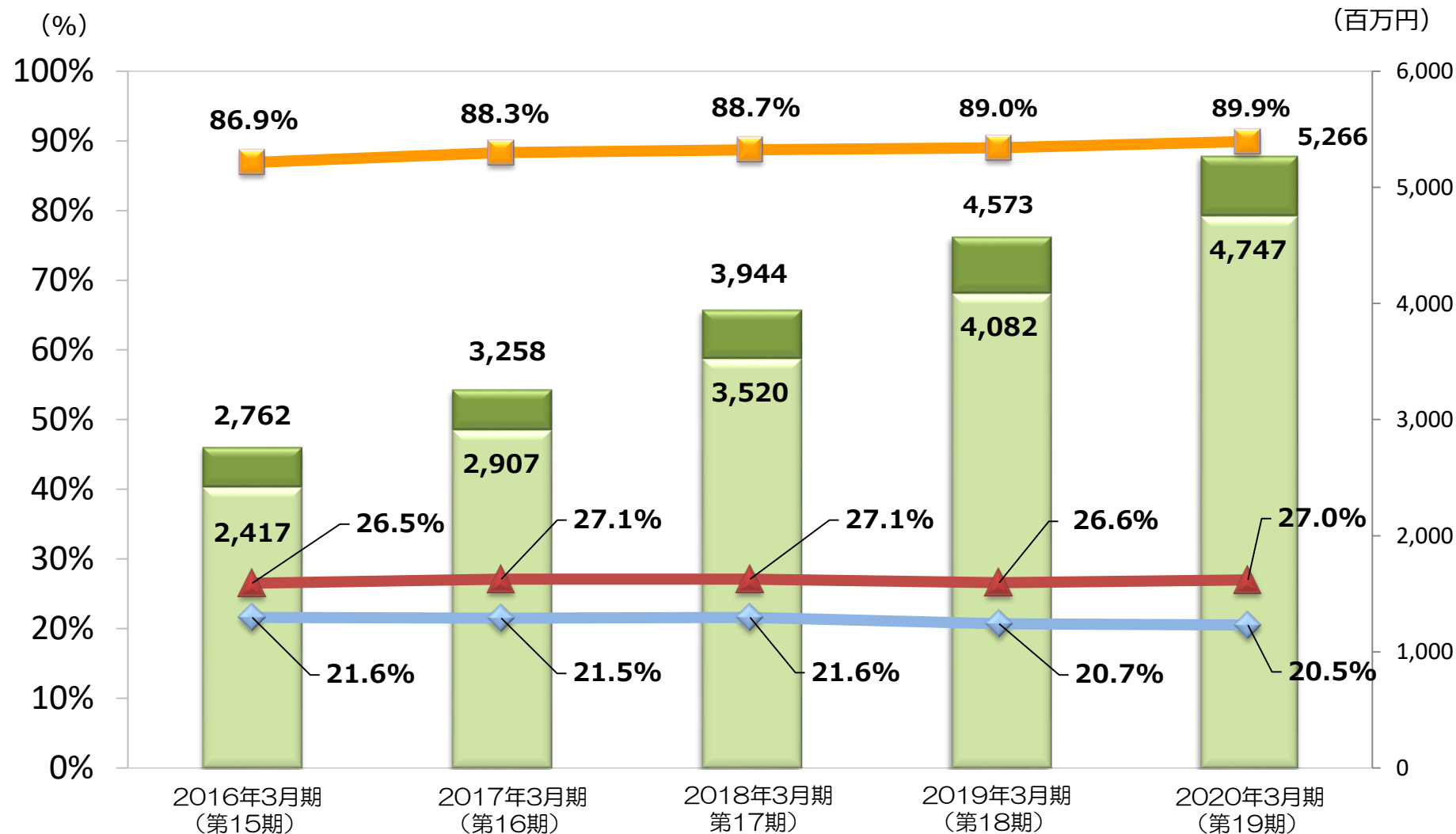
現状における、新型コロナウイルス感染症による当社グループ業績に与える影響に関しまして、受注は順調に推移しておりますが、Web会議等を推進するものの商談遅延により、設計、開発等に遅れが見込まれます。

今後につきましても、当該感染症による影響範囲が不明であることから、当社グループ業績の見通しについて、信頼性の高い数値の算定が困難なため業績予想は未定とさせていただきます。

尚、今後の状況を踏まえ、算定が可能になり次第、速やかに開示致します。

資本状況(ROE及びROA等)の推移

■ + ■ 総資産（連結）
 ■ 純資産額（連結）
 ◆ ROE（自己資本当期純利益率）
 ▲ ROA（総資産経常利益率）
 ■ 自己資本比率



本資料お取り扱い上の注意点

本資料は決算説明及び当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

IRに関するお問合せ
管理部 06-6486-3929
management@ebase.co.jp